

学級通信 カラフル

和光中学校
3年 学級通信 9月号

～ 仕方はある ～

2学期が始まりました。町民体育大会や音楽祭など学校行事がたくさんあります。みんなで盛り上げていきましょう。

さて、体育大会の練習の際、男子全体に次のような言葉を投げかけました。

「仕方が無いことは無い、仕方はある」

この言葉を初めて聞いたのは大学生の時です。同じ体育科の同級生が私に話した言葉です。すごくいい言葉だなと感じたので今でもよく覚えています。何気なく使ってしまう「仕方が無い」という言葉は「やりようがない」という意味だと思います。言い換えれば、「すべてを試し尽くしたけどだめであった」というのが本来の意味合いだと考えています。

学校では、生徒のみなさんからよくこの言葉を耳にします。恥ずかしながら、私自身も「すべてをやり尽くす前から」何気なく使ってしまうことがあります。

今、現代社会において「調整する力」がとても重要視されています。計画通り、思い通りに物事が進まず失敗することは日常茶飯事です。大切なことは、『失敗を「仕方ない」』と思うだけでなく、『失敗をしたときに、「何かできたことはなかったか?」「次はどうするのか?」』というように、自らもしくはみんなで協力して「調整する」ことだと考えています。「仕方がある」とは「仕方を模索しよう、調整しよう」という言葉です。

学校行事などを通して、「自身を調整する」「みんなと調整する」力を身に付けていきましょう。

『9月の主な予定』

- 12日(火)～15(金) 体育大会練習 (B&G)
- 16日(土) 体育大会練習・準備 (B&G) 弁当
- 17日(日) 体育大会当日
- 18日(月) 敬老の日
- 19日(火) 振り替え休業日
- 21日(木) 合唱練習
- 22日(金) 常任委員会・全校評議会
- 25日(月) 全校朝礼
- 26日(火) 合唱練習
- 28日(木) 合唱練習
- 29日(金) 生徒会役員改選

全国学力学習状況調査から

4月の中旬に行った全国学力学習状況調査の結果が学校に返ってきました。

最近の様々なテストの出題傾向としては、「出題文が多い」「資料が多い」ことが挙げられます。大学入試における、共通試験についても同様の傾向です。このことから、「必要な情報を読み取り、自分の考えを表現する」力が求められているといえます。

先日、職員の研修にて、特に「国語科」について生徒の結果を分析し、生徒の成果や課題について共有しました。結果、「書く力」がはっきりとした課題であると分かりました。

子どもたちの「書く力」を伸ばすために、以下のような手立てを考えました。

- ① 要約する力が必要 (文章に慣れる必要)。
⇒朝学習で四国新聞の問題集を活用するなど、問題に触れる機会を増やす。
- ② 主張を説明する力が必要
⇒子どもの考えに対して、問い返すことで見方や考え方を深める。
- ③ 「書く」ための「読む力」を身に付ける必要
⇒読み方の指導。語句の暗記でなく理解を促す。